

各位

平成 19 年 11 月吉日

JANOG21 実行委員会

JANOG21 ミーティング開催の御案内

日本ネットワーク・オペレーターズ・グループは、「JANOG21 ミーティング」を以下の通り開催致します。
開催趣旨に御賛同いただける皆様の御出席を御待ちしております。

■開催趣旨

JANOG21は、『技術交流、人間交流を2本柱とした参加者にとって実り多い会』をテーマに開催致します。
より高いクオリティのプログラムの企画と、タイムリーな技術情報の発信を目指すとともに、十分に議論する
事ができるような本会議の準備を進めております。

また、本会議会場の外でもJANOG21テーマである二つの“交流”を実現すべく、総勢31名のスタッフが一丸
となって検討を重ねています。

来年1月の熊本で、多くの方々とお会いできる事を楽しみにしております。

JANOG21 実行委員長

川村 聖一
仲西 亮子

■開催概要

名称: JANOG21 ミーティング
日時: 2008 年 1 月 24 日(木) 10:30~18:30
(予定) 2008 年 1 月 25 日(金) 9:30~17:00
(1 月 24 日(木)9:15 よりオリエンテーションを実施します)
会場: 熊本県熊本市 くまもと県民交流館パレア パレアホール
会場 URL : <http://www.parea.pref.kumamoto.jp/>
別紙地図を御参照ください
主催: 日本ネットワーク・オペレーターズ・グループ
ホスト: 株式会社アイエムエス・ドット・ジェーピー
後援: 熊本県
熊本市
総務省九州総合通信局
社団法人日本インターネットプロバイダー協会
特定非営利活動法人熊本県次世代情報通信推進機構(NEXT 熊本)
参加費: 無料(本会議)
懇親会: 日時(予定):2008 年 1 月 24 日(木)19:00
会場: 鶴屋ホール
会場 URL : <http://www.tsuruya-dept.co.jp/floor/hall.html>
参加費: 6,000 円(詳細は下記 URL を御参照ください)

JANOG21 ミーティング Web サイト: <http://www.janog.gr.jp/meeting/janog21/>

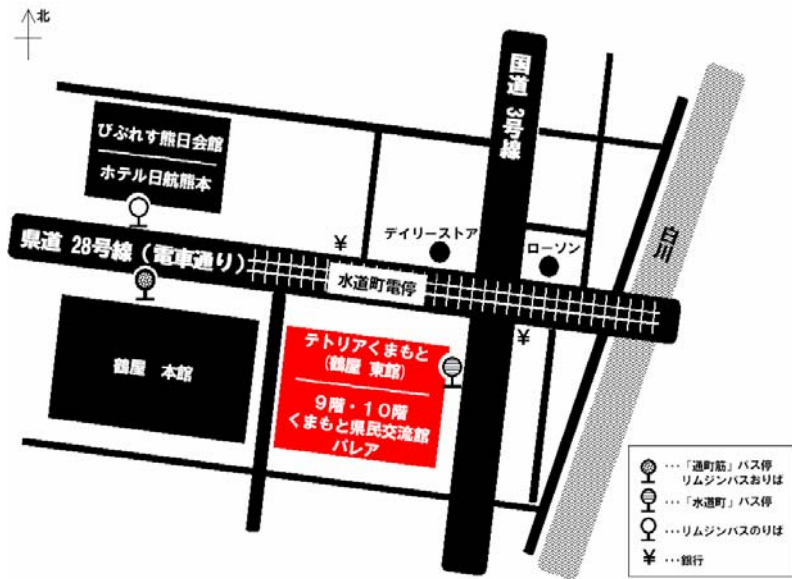
なお、ミーティング内容については随時上記 URL にて情報を公開致しますので御参照ください。

また、前日(1 月 23 日)には「IPv6 Summit in Kumamoto」が同じくパレアホールで開催されます。
こちらの情報につきましても、随時、JANOG21 ミーティング Web サイトに掲載する予定です。

JANOG21 交通案内



【会場周辺図】



阿蘇くまもと空港から

- 空港リムジンバスで 40 分
- 「水道町」又は「通町筋」バス下車

JR 熊本駅・JR 水前寺駅・熊本交通センターから

- 熊本市営電車で「水道町」電停下車
- 熊本市営バス・九州産交バス・熊本電鉄バスで「水道町」又は「通町筋」バス下車 (所要時間 5 分～15 分)

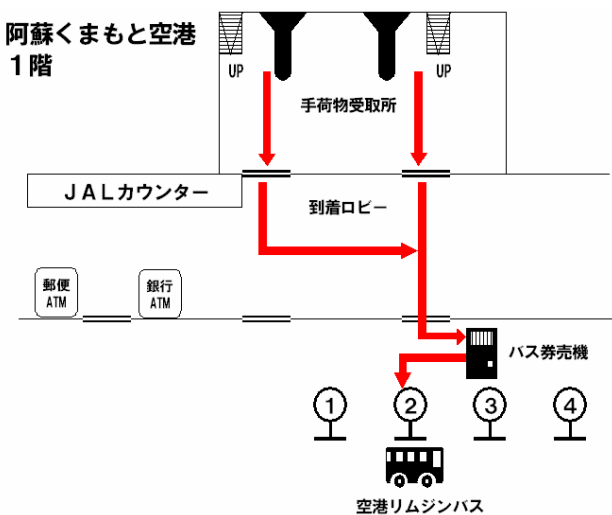
九州自動車道から

- 益城熊本空港 IC から車で 30 分
- 植木 IC から車で 45 分

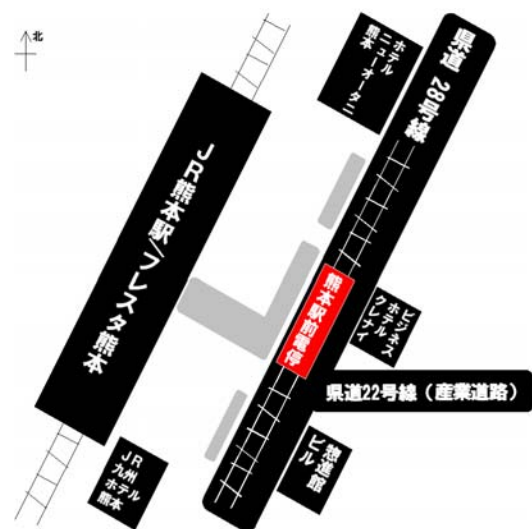
【会場までの主な交通手段】



(空港リムジンバスのりば案内)



(熊本駅前 市電のりば案内)



JANOG21 プログラム概要

本当は、もっとIPを使いたいです！ - テレビ局編

発表者: 伊賀野 康生 (ベライゾンビジネス)

横田 一浩 (株式会社テレビ朝日)

赤藤 倫久 (朝日放送株式会社)

浜田 泰幸 (エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社)

本田 彰 (エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社)

プログラム・プロデューサ: 伊賀野 康生 (ベライゾンビジネス)

もっとJANOGと密接に係わっても良いのではないかとと思われるプレーヤとして、放送事業者の方々があるかと思えます。

その放送事業者の方々から

- ・ IPネットワーク/インターネットで何がしたい？
- ・ それをするために必要なものは？
- ・ 特に、オペレーションとして、要求されるモノとその苦勞は？
- ・ 実際にやってみた事、出来た事
- ・ これからやってみたい事

と言った内容を伺い、相互の理解を深めると共に、これからのインターネットや IPネットワークに求められるモノの一つとしてオペレータが目指すべき方向性が議論できればと思っています。

[ライトニングトーク] いまさら聞けない日本語ドメイン名

発表者: 民田 雅人 (株式会社日本レジストリサービス)

日本語ドメイン名は、すごく特殊な技術を使って運用していると勘違い(*)しているエンジニアが一部に存在することが判明したので、そういった人たちの誤解を訂正したい

(*) 勘違いの例

- 日本語ドメイン名は日本のオリジナル技術で世界では通用しない
 - 日本語ドメイン名はMルートサーバに細工を施している
 - 日本語ドメイン名はDNSサーバに特別なプログラムが必要だ
- etc...

JANOG21の日程は、IE7の自動配布も2008年中に行われる予定なので、タイミング的に良いと考える。

日本語ドメイン名にまつわる誤解の例をあげ、日本語ドメイン名がどのような仕組みで動いているのかについて説明する。また、日本語ドメイン名の運用に必要なツール、ブラウザ等の紹介等も行う。

ノンサンプリングフロー分析でBogonフィルタ対策

発表者: 芦田 宏之 (イツツ・コミュニケーションズ株式会社)

新たなIPアドレスブロックを利用開始すると一部のサイトに到達できない問題が発生することがある。いわゆるBogonフィルタ問題はJANOG18でも議論され、RIRも不断の努力を続けているが、問題の性質上能動的に対策することが困難だった。

話題のノンサンプリングフロー分析を応用して、Bogonフィルタをお客様より先に発見し対応することを試みた。これまでの対応事例や手法を紹介し、到達性の確認と確保について議論したい。

[ライトニングトーク] セキュアコーディングノススメ

—あなたが書いたそのコードは大丈夫ですか?—

発表者: 久保 正樹 (有限責任中間法人JPCERTコーディネーションセンター)

戸田 洋三 (有限責任中間法人JPCERTコーディネーションセンター)

インターネットを構成する機器・ソフトウェアが安全であるためには、それらを動かすコードが安全であることが重要です。現実には、非常に単純なプログラミング上のエラーが重大な脆弱性に繋がり、ネットワークに深刻な影響を及ぼすことがあります。

JPCERT/CCは米国CERT/CCと共同で、脆弱性を作りこまないためのセキュアプログラミングの研究をおこなっています。

本セッションでは、セキュアコーディング技法の一端を、ネットワーク基盤に関わる製品における実際の事例を使い10分間で凝縮してできるだけご紹介します。

トラフィック流量の閾値監視に向けて

発表者: 樽井 行保 (インターネットマルチフィード株式会社)

谷津 航 (KDDI株式会社 ネットワークオペレーションセンター)

原田 薫明 (日本電信電話株式会社 NTTサービスインテグレーション基盤研究所)

廣川 裕 (日本電信電話株式会社 NTT情報流通プラットフォーム研究所)

プログラム・プロデューサー: 樽井 行保 (インターネットマルチフィード株式会社)

日々刻々 update される数百・数千ものトラフィックグラフの中から、どうすれば効率良く異常点(特異点)を見つけ出せるか、どうすれば異常点を見逃さないか、悩みを抱えているオペレータは多いと思います。

監視レベルを向上 or 維持しつつ、primitive なルーティンワークを抑制させるため、閾値監視ツールを導入することで自動的に異常判定できないか検討されている方も少なくないのではないのでしょうか。今回はこの「閾値監視」に焦点を絞ります。

rrdtool には異常判定機能として Holt-Winters 法が組み込まれています。この統計手法の有効性を実証した結果、またその他の異常判定アルゴリズムの研究、検証状況を比較し、「使える」閾値監視ツールを構築するためにどのような点を考慮すべきか議論してみたい。

参考:

JANOG19 「トラフィック監視、管理って皆さんどうしているのでしょうか? - Beyond MRTG -」

http://www.janog.gr.jp/meeting/janog19/2006/11/post_26.html

ルーティングを語ろう

～チェアが語る世界の最新動向と幸せな世界をめざして～

発表者: 吉田 友哉 (エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社)

松崎 吉伸 (株式会社インターネットイニシアティブ)

インターネットは参加する各組織が適切なルーティングを行って、初めてうまく機能します。そんなわけで、移り変わる標準や適切な運用方法をみんながきちんと共有して実装していくことが今後のインターネットを支える上で重要なんだろうと考えています。

ルーティング、主にBGPを中心に世界の最新動向、知らずに使っているベンダの実装や今の課題、問題点について発表します。

NGNなんて関係ネーと思ってねえ？

パネルチェア: 石田 慶樹 (日本インターネットエクスチェンジ株式会社)

パネリスト: 水越 一郎 (東日本電信電話株式会社)

浅羽 登志也 (株式会社インターネットイニシアティブ)

プログラム・プロデューサー: 馬渡 将隆 (株式会社ドリーム・トレイン・インターネット)

NGNというキーワードの元、さまざまなアクティビティが行われるようになってはや数年がたちます。そして、固定系通信の再構成を目論むNTT-NGNもまもなく離陸しようとしています。それに対して、インターネット側ではNTT-NGNに対して無関心もしくは冷笑を浴びせているようです。しかし、実際にNTT-NGNが動き出した場合に、インターネットやそれを支えるISPやそのオペレータに大きな影響を与えることは必須となります。

本セッションではNGNの中でもNTT-NGNに対して、恐れることも侮ることもなく、ISPの事業環境にどのような影響を与える可能性があり、それがオペレータにどうかかわるかについて考えるきっかけとなるように、NGNについて簡単に紹介した後で、NTT-NGN後の来るべき世界に関する見通し、それに対するインターネットの本質について議論を進めていきます。

議論点

- NGN の本質って何？
- NGN が xSP 運用者にもたらすものは？
- xSP 運用者が見ておく必要がある事とは NGN のこういったところ？

[ライトニングトーク] AP地域のNOG s の活動紹介

発表者: 藤井 美和 (APNIC)

APNICはAP地域のインターネットリソースのレジストリーで日本のレジストリーJPNICと緊密な関係をたもっています。地域レジストリーとしての仕事から、AP地域のほかのNOGのミーティングに参加したり、トレーニングを行ったり、あるいは参加した人からの意見を聞くチャンスがあります。

JANOGで話されている内容、リサーチされている内容はとても高度で濃いという印象をもっています。特にJANOGで発表されている各種リサーチの内容は、将来的に、他のAP地域のNOGのオペレーターたちも参考にしてもらいたい内容が多いように思います。

他のNOGがどんな活動をしていて、何がホットな話題として議論されているのかといった情報をJANOG参加者の方々とシェアさせていただき、日本で行われているインター

ネットインフラ技術に関する各種リサーチ，問題への対応策等が，他のNOGへも発信されていくきっかけになれば良いなあと考えています。

- AP地域のほかのNOGの簡単な歴史と活動状況
- JANOGからAP地域への発信

P2P配信技術の現状と希望をニコニコ語ろう

発表者: 伊勢 幸一 (株式会社ライブドア)
川村 聖一 (NECビッグロブ株式会社)
久保 孝弘 (株式会社KDDI研究所)
山西正人 (ソフトバンクBB株式会社)

注目のP2P配信技術にスポットをあてたプログラムです。

近年、動画配信の普及によりますます肥大化して危機的な状況に陥りつつあるインターネットバックボーン。その危機を解決する方法として、トラフィック削減効果を見込むP2P配信技術に注目が集まっていますが、当プログラムではその技術の成り立ちや実際のビジネスシーンでの利用実態、最適な配信アルゴリズムをとる上での課題を改めて考えます。

更に、会場全参加型のディスカッションやプログラムを実際にインターネット上にリアルタイム中継するなどの斬新なアイデアを各所に散りばめ、またプログラム名と関連したニコニコな提案も行うべく準備がすすめられています。

なお、これまでのP2Pソフトウェアが起こした著作権に関する問題やセキュリティ上の懸念はスコープ外とし、これからエンジニアは何をすべきかなど、最新テクノロジーに前向きな姿勢で臨む場にしたいと思います。

つぶらな瞳で会場に聞いてみる

～あなたの環境はIPv6に移行できる？～

発表者: 工藤 真吾 (ソフトバンクテレコム株式会社)

xSPのネットワークであったり、提供しているサービスについてのIPv4枯渇対応についてはガイドラインがあったり、色々と議論されているようですが、実際にネットワークを運用しているオペレータの環境ってどうなんでしょうか？

案外自分の環境にはグローバルIPv4アドレスが溢れてるなんてことありませんか？

そのIPv4アドレスが無くなったことを考えると. . . いやいや、もしかするとサービス提供のためにアドレスを変更しなければならなくなるかもしれないのでは？

そんな時のためにも、もしIPv6に「行く」可能性があるのであればネットワークオペレータとしてその準備を整えておくのは重要なことではないでしょうか？

実際にはプライベートIPv4アドレスに変更するという選択肢もありますが、IPv6への移行が現実問題になる前に、全く準備ができてなかったなんてありえませんよね？

そこで会場の出席者（もちろん会場に来られない方にも）に聞いてみたい！

- ・オペレータとしての「心構え」は重要なのか？
- ・もし移行するべき時が来たら真っ先に行くべきか？行かざるべきか？

ちなみに、IPv6移行の是非については議論しないこととします。

IPv4アドレス枯渇に向けて ～オペレーターが取り組むべき 解決策を一緒に考えよう！～

発表者: 近藤 邦昭 (サイバー大学 准教授 / まほろば工房 代表取締役)

佐藤 晋 (社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター IP事業部)

小山 海平 (株式会社倉敷ケーブルテレビ)

白畑 真 (株式会社クララオンライン)

岡田 雅也 (エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 ネットワーク事業部 ネットワークグランドデザイン室)

JPNICでは今後数年と言われているIPv4アドレスのレジストリ在庫枯渇に向けて、ISPのサービスやオペレーション面での課題について、関係者を募って検討を進め、報告書にまとめました。

<http://www.nic.ad.jp/ja/pressrelease/2007/20071207-01.html>

サービスやオペレーションにおける課題も通信サービスの業態、規模、IPv6への準備度合いによって異なると考えられます。

そこで本プログラムでは報告書での結論を基に、アクセス事業者、CATV事業者、ホスティング事業者の代表者をそれぞれパネリストにお迎えし、実際のオペレーションにおける今後の課題と対策について議論を進めていきたいと考えています。

[ファシリティ集中講座] そのラック、何度かしら？

発表者: 高田 寛 (メディアエクスチェンジ株式会社)

仲西 亮子 (MKIネットワーク・ソリューションズ株式会社)

データセンターの空調の仕組みについて『知ってるようで知らない』という方に今一度基本に戻って"いろはのい"からその仕組みについて説明します。

熱力学第一法則について『文系だったから・・・』という方に、wikipedia よりもっとわかり易く解説します。

データセンターに置くサーバを、エアフローを考えずにマウントして運用してきたという方に、安定運用を考慮したマウントとはどういう事なのか、講釈します。

『データセンターの熱問題って結局何ナノ?』という方に、何が原因なのか、解決策はどこにあるのかを例を出しながらお教えいたします。

それがこのセッションです。受講しましょう。